

(2) まちづくりの目標と基本方向

2市町の合併に伴い、行政・文化・商業・医療等をはじめとする広域的な都市機能を備えた11万人都市が誕生します。

新しい都市は、多彩な産業から構成され、一方で、豊かで変化に富んだ自然資源、個性と魅力ある歴史、四季を通じた多様な観光・交流資源を有し、また、瀬戸内海から西中国山地に至る多様な地域風土に培われた個性ある地域の生活文化が共存しています。

合併によるまちづくりにおいては、こうした都市規模の拡大、産業基盤の蓄積や多様な地域資源、生活文化などを踏まえ、広島大都市地域に隣接するメリットを生かしながら、将来に向けて発展していくための活力を新たに創出するとともに、質の高い市民生活を創造し、広島県西部の自立した拠点都市として、広域的な個性と魅力を高め、周辺地域との連携を図りながら、県全体の活性化に寄与していくことが必要です。

こうした考え方にに基づき、まちづくりの目標として「広島県西部の拠点都市」を掲げ、次の2つをまちづくりの基本方向とします。

未来を拓く活力を 創出するまちへ…

本地域は、人材、自然、地域空間、地域資源、産業などの多様性に富んだ地域であり、こうした多様性を複合的かつ有機的に組み合わせ、市民活動や都市活動が活発に展開される活力のあるまちとしていくことが、広島県西部の拠点都市としての性格を強化し、都市の個性と魅力を創造していくことにつながります。

市民の活力、都市の活力そして産業の活力を総合化することにより、躍動感ある地域社会を形成し、広域的なサービスの提供によって、多くの人が集い、賑わいのある未来を拓く活力を創出するまちの実現を目指します。

ゆとりある生活を 楽しめるまちへ…

本地域は、広域的には住宅都市としての性格を基調としており、住宅都市として、真に豊かで安定した市民生活を確保し、市民が我がまちとして住むことに誇りを持つまちとしていくことが、拠点都市としての存在基盤を強化し、新都市のアイデンティティ(地域としての個性や特徴)を確立していくことにつながります。

安心と安全のもと、快適で豊かな市民生活を支え、市民一人ひとりの人権や個性が尊重され、誰もが生き生きとゆとりある生活を楽しめるまちの実現を目指します。

FUTURE
(未来)

VITALITY
(活力)

IDENTITY
(個性・特徴)

AMENITY
(快適)